

風人

F u - Z i n



第12回

NPO博多の風 フォーラム 報告

- 「第13回NPO博多の風フォーラム」開催決定
- 「第3回探訪!!博多祇園山笠 追山コース」報告

第7号

平成16年10月発行

第12回

NPO博多の風 フォーラム開催!

去る平成16年4月18日(日)に博多部の明治生命ホールにて「第12回 NPO博多の風フォーラム」が開催されました。



第一部は福田事務局長より、平成15年度のNPO博多の風活動報告の抱括と、各事業の新生活人の紹介を壇上より行いました。そして旧冷泉小学校跡地の活用案として、山笠記念会館設立についての提言が後郷世話人より発表されました。

休憩を挟んだ第二部は在福岡アメリカ領事館首席領事であるウー・C・リー氏より講演をいただきました。フォーラム当日の朝

に、日本人拉致被害者が解放されていく、それについての意見や、過去10年間に於いて日本の外交の遍歴や日本政府全体が、外交・金融・軍事面という重要な活動において活躍していることに驚いているといった事を話されました。

博多よもやま噺 「博多の町・人」

三年前、私は外交官として福岡へ着任しました。博多に着任する直前まで、外交官として5カ国を担当したのを始め、出張・旅行等を加えますと約30カ国の外国へ行ったことになりました。これらの渡航歴をふまえてみなさんに申し上げたいのは、皆さんは非常に住みやすい都市に住んでいて、世界の中でもすばらしい国民であるということです。このことを日本人の友達に話すと、若干納得がいかない表情で応えます。あらゆる国を巡ってきた私から見

れば、日本人は自国に対して他国の人より批判的な態度をとり、また、自分の国の将来について悲観的な方が多いように見受けられます。私はいかに福岡の人がこの都市に誇りを持つべきかをお話したいと思います。

皆さんは、日本という平和かつ繁栄している国に住んでいますが、中東情勢を見れば分かると思いますが、このことは世界的に見ても非常に珍しいことです。そして、皆さんは自由な民主主義国家に住んでいます。そんな自由のある国は、実は世界中を見渡しても半分にもみだつていません。フランス、皆さんは博多に住んでいらつしやいます。ご存じのように、博多は空気も綺麗で、近くに温泉も多く、生活のペースもとてもリラックスしているし、日本の中でも食べ物美味しい所でもあります。

しかし、これらの博多の魅力以外にも魅力を感じている特徴があります。それは、「博多のスピリッツ」です。「博多のスピリッツ」：又は博多の誇りを考えたときに、博多の持つ特徴に対して非常にプライドを持っている人が多くいるように感じます。福岡に着任した際、空港から領事館に向かうタクシーの中で運転手さんは、「どこからいらつしやつたんですか?」、「山笠をこ存じですか?」と博多の特徴・自慢ばかり話し

てきてくれたことが印象的でした。それ以前に東京で4年間滞在したことがあったのですが、タクシーの運転手さんに話しかけられることなどありませんでした。山笠・屋台・豚骨ラーメン：博多の人は自分の町、そして自分たちの文化について誇りを持っていて、しかし、その(誇り)についても色んな種類があります。

博多の人のプライドの特徴は、まず「威張っていない」ということ。威張っているプライドというのは、ある意味では危険な現象です。自分の都市・民族だけがよいものと決めつけると、他の都市・民族を見下すプライドということになります。こうなると危険です。私の経験では博多の(誇り)とは、先程述べた事とは違います。もうひとつは「排他的でない」ことだと思います。博多のよいところを東京の人や外国人に



もシェア(共有)したい気持ちがあるように感じます。そして博多の人と付き合っていて感じるのは、とても「オープン」で隣国・アジア諸国の事について興味があるように感じます。博多の人は自分のアイデンティティとプライドを持つべき文化について、十分な自信を持っているので、他国の一番いい物(事)に興味を持ち、それをうまく取り入れていきます。他国のことを排他的に否定する人は、自分の国や文化について自信を持っていない人が多いのではないかと思います。

私は赴任している3年の間、沢山の友人を作ることが出来ました。今年の7月に、次の任地人に向かう事になるのですが、博多での記憶に残っているのはなによりも博多でできた「友人」です。

世界は博多について どんな風に見ているのか?

博多を悪く言う外国人は少ないのですが、残念ながら博多自体を知っている外国人がとても少ないのです。博多は、よい所であるのに、外国人にあまり認知されていないのは、アジアの「穴場」の一つになっているのではないかと考えます。今朝、出かける前にインターネットの検索サイトで「Boon」にアクセスし、英語で「KANSAI」と入力して検索し

てみました。すると一番最初にヒットしたところは「博多港」のウェブサイトでした。さらに二番目にヒットしたサイトは、アフリカの魔法使いが使用する物に「hata」と呼ぶ物があるそうです。因みに、動物の骨や象牙あるいは木材から作られているそうです。「FUKUOKA」と入力すれば、沢山ヒットするのですが、博多すばらしい土地であるという実感がある割には「HAKATA」の英語のサイトが少ないのです。

博多をどのようにして世界へつなげるか、世界をどのようにして博多につなげるか？

本日来場されている方の中に



も若い人たちが多いですが、まずそういう若い人たちに海外旅行をさせてください。東京都と比べても20〜30代の若者の海外旅行経験者が少ないです。今日、アジアの隣国に行くことは便利だし、

コスト的にも安くなっています。しかしながら海外旅行をする若者が少ないのは、(経済的)(距離的)なバリアよりも(mind)：心のバリアが未だに存在するからではないかと考えます。ほんの一回でも海外旅行を経験すると、多くの若者は何度も足を運ぶようになります。若い人達が、外国の環境で外国人に会うのと、自国で外国人に会う経験というのは全く異なります。海外に行くと

に浅い海外旅行の経験となりえるからです。

具体的には国あるいは地方自治体のレベルで新しいプログラムを作るべきです。それは、能力・才能のある日本の若者に奨学金で海外の大学に留学するプログラムですが、財政的には厳しいものかと思われまます。現在、日本には「ジェット・プログラム」という制度があります。これは、国・地方のレベルで1〜2年の間に5000人程の海外の若者達を日本に招待し地方自治体や学校で働けるように、また小学校から高等学校へ英語を教えるためのプログラムです。このプログラムには膨大な予算を使っています

は控えてもらって、その予算を若い人たちが勉強出来るプログラムを作れば、本当の意味での国際交流になるだろうと思います。

もうひとつ大事なことは、外国人を日本に招待することです。アメリカでも、小泉首相が出演している日本観光のCMが流れていて、非常に好評だそうなんです。これはこれで評価すべきですが観光以外のところ：つまり「ビジネス」での交流もすべきだと考えます。私の経験では「姉妹都市」「国際交流」もいいのですが、最終的に交流が広がるか、それとも終わってしまうか：それらを決定するのは二つの国と二つの場所の「経済的な交流」が非常に大切な役割を果たします。福岡にはすばらしい企業が沢山誘致されていますが、歴史的な関係上、福岡・九州の大企業ほとんどは国内向きの企業です。電力・ガス・鉄道・銀行などのように輸出品がない会社ばかりです。アメリカの都市の一つにシアトルという国際的イメージを持つ都市があります。20年前は、大リーガーのイチロー選手も在籍していませんでした。シアトル自体を聞いた事のある方も少なかったように感じます。では、シアトルがなぜ国際的な町になったかと言うと(ボーイング)(マイクロソフト)(スターバックス)という世界的な企業がシアトルに本社を位

置してから、本当の国際的な町になってきたと思います。博多ひいては九州に世界レベルの企業を誘致して「アジア本社」を作るべきだと思います。逆に日本本社となることや、関東に作るべきなのです。先月「G・E」という会社の方の話聞いたところ、福岡が、アジア本社を作るためには、東京と競争するのではなく、上海・釜山等アジアの大都市と競争すべきだと言うことでした。そういう面では、東京の日本政府に近くなっていいので、福岡に世界的な企業を誘致することを勧めます。

その後は現在の政治家の話、そして大庭理事長と沢田幸二さんを交えてのトークになりました。3人とも旧知の中だけに、トークも冴え渡り、大変充実した内容でした。(土井俊一郎)

し居心地がいいように外国人とつき合える能力がつかうかと思いません。その上で、海外旅行に行かせる前に、「食べ物」や「買い物」だけではなく、行き先の「歴史」「政治」「経済」そして「文化」を学んでから行くことが好ましいです。それがないと、非常

に浅い海外旅行の経験となりえるからです。

他にも海外留学への予算を得る余地があります。政治家や公務員はよく代表団を組んで、海外の姉妹都市等へ行きますが、できるだけ遊びに近い海外旅行



探訪!!

博多祇園山笠

追山コース

開催

平成16年6月6日

博多祇園山笠の素晴らしさ、さらには博多の町に残るいろいろな歴史の流れを多くの方々にも触れてもらおうと参加者を広く一般公募し、「博多の風」の仲間たちの道案内で「探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」を開催しました。

数えて3回目の「探訪!博多祇園追山コース」を平成15年6月6日(日曜日)に開催しました。今回も新聞紙上やチラシ等で参加者を募集したところ、多数の応募をいただき、抽選にて選ばれた約200名の参加者を10グループに分かれての探訪となりました。当番法被姿のNPO博多の風幹事とその仲間達約100名が案内役となり冷泉公園をスタート。鶴田神社や承天寺、聖福寺などで山笠の由緒やしきたりを説明したり、西町筋やごんどう通りなど、山笠の昇き手としての見とこ



こちらが集合場所の「冷泉公園」です。NPO博多の風のメンバーが「語りべ」として同行します。



福岡市東区・男性

「一本路地を入るだけで知らない通りや寺が多く、博多文化の厚みを感じた。今年はかならず追山を見に来たい!」

福岡市城南区・女性

「博多の町にこんなにお寺が多いとは自分で歩くまで思いませんでした!」

春日市・男性

「子供の頃に出た事はありませんが、その頃を思い出しました。今年是非山笠を見に来たいと思います!」

福岡市西区・女性

「テレビではなかなかわからない、山笠の動きや筋路など、勉強になりました!」

福岡市中央区・ご夫婦

「山笠はよく見えますが、初めて追い山コースを歩きました。意外と距離もあって昇き手の方は大変だと思いました!」

福岡市博多区・女性

「昇き手の方ならではの説明は臨場感があって、楽しかったです。次回は友人に勧めてみたいです!」

福岡市博多区・女性

「追い山コースを実際に自分で歩いてみたのは始めてで、大変勉強になりました。まっすぐな道路も実際は下り坂だったり、意外に道幅が狭かったり知らない事ばかりでした。今年の追い山が楽しみです!」



②「柳田神社の銀杏」の手前から右におれて、歓声とフラッシュの中一気に清道をめざします。清道の回り方はいろんな形があり、美しく回るのも一つのポイントです。



③柳田神社をスタートして、2番目の清道がこの「東長寺」です。大博通りに建てられた清道を山笠が180度回って進む姿は迫力があります。



④この「西町筋」を下に降りたら12日の追い山ならしの「廻り止」になりますが、15日の追い山では、これから先、右に左に約1km、須崎間屋街「廻り止」までもう少しです。



⑤追山の決着点「廻り止」です。最後の角を曲ると、目の前に回り止めが見え、一気に駆け抜けます。



冷たいぜんざいを用意しております。お茶と一緒にみなさん遠慮なくどうぞ。



⑥「大博通り」には、こんな井戸もある事みなさん知っていましたか？



⑦通称「こんどう通り」です。「大博通り」から入ってきて道幅がせまくなり、この先の90度の曲がり角を一気に曲がる所が鼻取りの腕の見せ所です。



①柳田入りのスタート地点「山留め」です。太鼓の音と共に竹竿が上がり、山笠は柳田神社を目指して動き出します。「鼻取り」「押き手」「後押し」みんなの心を一つにしての柳田入りです。



④ここが「承天寺」です。ここは清道を回る山笠の迫力を間近で見れる隠れたポイントの一つです。ここに、山笠発祥の地をしるした石碑があります。



⑤通称「東町筋」です。道幅が狭く、迫力があります。この「聖福寺」の先には長い下り坂があり、山笠のスピードが上がります。

□福岡市城南区・男性
「廻り止めの所がこんなに、入りかかっているとは知りませんでした。今年の山笠はちよっと違った感じであらうので、今から楽しみです。頑張ってください。」

□福岡市南区・男性
「鼻き手の交代の仕方や曲がり方など、実際に参加している人の説明を聞きながら歩いて面白かったです。」

□福岡市早良区・女性
「1時間半があつと言う間に過ぎました。博多の町を歩いてみて、自分の知らなかった歴史や鼻き手の人達の説明は感動があつて大変興味深かったです。」

□福岡市博多区・女性
「山笠はいつもテレビで見ている興味があつたので、参加しました。この距離をそんなに重い山笠を担いで進むのは凄いと感じました。」



会員紹介

リゅう しんいち
笠 信一さん

NPO博多の風副理事長
(財務、山笠コース探訪担当)

- 年齢:52歳
- 職業:会社員(福岡県信用保証協会)
- 西流 冷泉一区



私は博多区美野島の生まれで
中学校からは長住で育ちました。
冷泉町に住むようになったのは、
昭和58年からです。その頃はまた
山笠には出ておらず、子供が小
学校に上がるかその前くらいに、
子供がお爺ちゃんに連れられて
山笠に行っていたのですが、「親
が山笠に出ないと来ちゃいけん
て言われた」と子供が泣きながら

帰ってきたのがきつかけです。そ
れから今まで一度も休むことな
く、山笠には出続けていますね。
冷泉町という山笠のある町に
住んで思うことは地域とのつなが
りですね。今は都会のマンション
なんかでは隣に誰が住んでいるの
かも判らないことが当然のよう
なっています。山笠があるお蔭
で、町内に住んでいる人と挨拶を

する。そして、そこからコミュニ
ケーションが始まる。山笠の素晴
らしいところは「若いも若きもひ
とつの目標に向かって一所懸命
やれるところ」だと思います。ま
た、私は山笠という祭りも好きだ
けど、山笠のあるこの博多の町が
いいと思います。それと山笠に
出ている人間が好きですね。この
博多の町の山笠が続いていくた
めには、これらのことを継承して
いくことがとても大事になってき
ます。その動きのひとつがNPO
博多の風です。

博多の風をNPO法人として
立ち上げてから、4年が経とうと
していますが、元々、「博多の風」
は任意の団体だったんですよ。そ
れが、国の法律が変わり、NPO
法人という制度が出来ると言う
ことがわかったので、早速、大庭
さん(天庭宗一理事長)に話して
みました。組織として活動してい
くからには、経済的な基盤を確立
させなければならぬからです。
また、財務とか税務面とかを考え
ると、どうしても任意団体よりも
NPO法人にしたほうが幅広く
活動ができますし、運営もスムー
ズに行えると判断したからです。
大庭さんは「俺は難しいことは
わからんけん、任せるばってん、
何をしたらいいと？」と言
われるので、「大庭さんは我儘や
から我儘にやったらいいよ」と言
うと、大庭さんから「あんたみた

いな我儘から言われとうないば
い」と言い返されました(笑)。
それから、事務局長の福田さ
ん、亡くなられた和田さんと3人
で準備して、博多の風をNPO
法人として登記したわけです。特
に、なくなられた和田さんが税務
関係のことを一手に引き受けて
進めてくれました。
山笠もこのNPO博多の風も組
織ですからこの先、長い歴史の中
で拡大・縮小はあると思います。
しかし、これは大庭理事長がいつ

も言っている事ですが、大事なこ
とは継続していくことだと思いま
す。継続するためには、若い世代
に対してどのように継承してい
かが大事になります。若い世代に
継承していくためには若い世代
が魅力に感じなければならぬと
思います。本当の意味で子供に
魅力ある山笠の継承、その事
にNPO博多の風もお役に立て
たらいいと思います。

(大久保道之進)

旧冷泉小学校跡地 将来構想

博多の伝統・文化の拠点

『山笠交流会館 (仮称)』実現に向けての提言

第12回 NPO博多の風フォーラムの中で『山笠交流会館 (仮称)』実現に向
けての提言が発表されました。現在決定している利用計画や、山笠交流会館の目

指す姿、施設建設整
備の方法や運営活動
案など、を発表。他
の祭りの関する施設
紹介など、スライド
を使って分かりやす
く説明し、フォーラ
ム終了後にとったア
ンケートでも、参加
者の感心が高い結果
となりました。



第4回

祭り童子集まれ!
楽文コンテスト「優秀作品」
10月24日フォーラムにて発表!



▲昨年度の表彰式から受賞者の皆さん

恒例となりました楽文コンテストも今年で第4回。市内各小中学校の御協力もあり、今回は応募総数が1000通をこえました。応募数にまけないくらい中身の濃い楽文ばかりで、各賞選定者も喜びを隠せません。「NPO博多の風賞」など、各賞の選定をしておりません。次回フォーラムでの作品発表に御期待ください

第6回クリーン作戦

平成16年5月16日に予定していた「第5回はかたの町クリーン作戦」は雨の為、中止いたしました。次回、11月のクリーン作戦のご参加をお待ちしています。



第6回 はかたの町クリーン作戦

NPO博多の風のメンバーと一緒に博多の町を美しくしましょう。お友達をお誘い合わせの上、協力よろしくお願ひします。

- 日 時：平成16年11月21日(日)
8:30集合(11:30解散予定)
- 集合場所：冷泉公園(南側の角)

NPO博多の風 賛助会員募集のお知らせ

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お知り合いの方をご紹介ください。

- お問合せは「NPO博多の風」
事務局(担当・福田)
- TEL: 090-1349-5982
- FAX: 092-263-7188

NPO博多の風ホームページ

<http://hakatanokaze.jp>



活動報告はもちろん、幹事紹介なども更新していきます。

- ご意見・ご感想をお待ちしています

～編集後記～

今年には博多祇園山笠振興会の発足50周年の年にあたり、様々な記念事業が行われました。記念誌の発行や記念式典、ソラリアプラザでのイベント、そして上海での昇き山披露。博多のお祭りを全国区のお祭りから世界へと広げていったともいえる振興会の活動の軌跡を一つの形として見る事ができました。われわれ「NPO博多の風」も発足して6年。(NPO認証取得して4年)様々な活動を通じて12回の「NPO博多の風フォーラム」5回の「はかたの町クリーン作戦」3回の「探訪!博多祇園山笠追山コース」「楽文コンテスト」等、恒例となってきたイベントも多数あります。今後いろいろな活動とそれを支える会員の皆様をつなぐ広報誌であり続けたいと思います。

「NPO博多の風」

広報事業部・中山 肇

NPO博多の風のあゆみ

平成 10年9月	任意団体「博多の風」設立 代表：大庭宗一
同年10月	第1回博多の風フォーラム開催 講師：松本龍氏（衆議院議員）
11年4月	第2回博多の風フォーラム開催 講師：倉田 真氏（毎日新聞編集局長）
同年10月	第3回博多の風フォーラム開催 講師：沢田幸二氏（九州朝日放送アナウンサー）
12年4月	第4回博多の風フォーラム開催 講師：坂口卓司氏（RKB毎日放送アナウンサー）
同年5月	大庭宗一と博多の風の仲間たち監修 『山笠の風』出版 同出版記念パーティ開催
同年5月	NPO（特定非営利活動法人）認証取得 理事長：大庭宗一
同年6月	NPO博多の風として登記
同年10月	第5回NPO博多の風フォーラム開催 講師：緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長）
同年11月	山笠交流会館建設提言書、福岡市長へ提出
13年4月	第6回NPO博多の風フォーラム開催 講師：後藤豊彦氏（福岡銀行相談役）
同年5月	作文コンクール 「第1回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（5/1～7/31）
同年7月	「NPO博多の風フォーラム」 福岡県21世紀記念事業認証取得
同年10月	福岡県21世紀記念事業 第7回NPO博多の風フォーラム開催 講師：後藤久義氏（博多祇園山笠振興会会長） 永吉和幸氏（毎日新聞社福岡総局長） 緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長） 「第1回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 優秀作品表彰式
14年4月	第8回NPO博多の風フォーラム開催 講師：安達一成氏（毎日新聞社記者）
同年4月	「博多の風ホームページ」開設
同年5月	第1回 クリーン作戦開催
同年6月	「探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催
同年7月	作文コンクール 「第2回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「博多の風広報誌：風人」発行
同年11月	第9回NPO博多の風フォーラム開催 講師：高橋慶彦氏（元プロ野球広島東洋カープ）
同年11月	第2回 クリーン作戦開催
15年4月	第10回NPO博多の風フォーラム開催 講師：永守良孝氏（RKB毎日放送株式会社 取締役）
同年5月	第3回 クリーン作戦開催
同年6月	「第2回 探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催 作文コンクール 「第3回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「博多の風広報誌：風人」発行
同年11月	第11回NPO博多の風フォーラム開催 講師：奥田智子氏（九州朝日放送アナウンサー）
同年11月	第4回 クリーン作戦開催
同年6月	「第2回 探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催 作文コンクール 「第3回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
16年4月	第12回NPO博多の風フォーラム開催 講師：ウー・C・リー氏（在福アメリカ領事館首席領事）
同年5月	第5回 はかたの町クリーン作戦（雨天中止）
同年6月	「第3回 探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催
同年7月	作文コンクール 「第4回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「博多の風広報誌：風人」発行
同年10月	第13回NPO博多の風フォーラム開催

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027

福岡市博多区下川端町8-16-302
TEL&FAX 092-263-7188

E-Mail npokaze@juno.ocn.ne.jp
URL <http://hakatanokaze.jp>

「NPO博多の風事業概要」

- 博多の町の伝統文化を次世代に引き継ぐ啓発事業
- 「博多の風フォーラム」の定期開催
- 博多の町の地域振興活動
「探訪!!博多祇園山笠 追山コース」事業
- 博多の町の地域清掃活動「クリーン作戦」事業
- 「祭り童子集まれ！楽文コンテスト」事業
- 山笠山台の技術継承活動事業
- 博多祇園山笠振興に関する活性化事業のお手伝い
- 青少年スポーツ振興に関する支援・協力事業

題字：新井光守

